

2019年4月1日

会員の皆様へ

日智商工会議所会頭(2019-20年)

高瀬 芳典

2018年を振り返れば、チリでは大統領の交代があり、新大統領の的確な経済政策により、年間GDP成長率4.0%を記録致しました。外交面では、日本とチリの両国がリーダー役を果たし、TPP11を年末に発効させています。以前から2007年EPA、2016年租税条約の発効により両国間の枠組みは強固に組み上げられており、日本にとってチリは南米の中で政治、経済両面で最も重要なパートナーのひとつと言えます。

2019年日本はG20の議長国となり、一方のチリはAPECの議長国となっています。緊密な両国が奇しくも同じ年に世界の安定と成長の為、それぞれに重責を担うこととなり、緊密な連携の下に、その役割を果たそうとしています。こうした潮流の中で、日智商工会議所としても、微力ながら両国関係の発展に力を尽くして参りたいと考えております。

我々のビジネスに目を転じれば、政治的な安定を背景に、チリ経済は鉱山業と、加工を含む農林水産業を基幹産業として、着実な歩みを進めて来ており、人口18百万人と限られた規模ながら、日系企業の進出も目覚ましく、日智商工会議所も様々な業種の法人会員82社に加え、2名の個人会員を擁しております。

昨年、会員の皆様のお悩みを聞き、チリ政府に改善を求めたいことを纏めさせて頂きました。こうした活動は息長く、根気強く働きかけて行うことが必要と考えております。皆様と一緒に声を挙げて、少しでも日々のビジネス環境を改善できるよう考え、行動して参ります。

ご既承の通り、日智商工会議所では、各種委員会を設置し、スポーツや親睦のイベントを開催している他、チリで日本文化を普及させる為の活動支援等も行っています。こうした活動でチームジャパンとしての結束力を強め、ビジネス環境の改善にも力を発揮できるよう工夫して参りたいと考えておりますが、それには皆様の後押しが必要です。

今後益々、日智商工会議所の活動にご理解を頂き、積極的にご参加頂けるようお願い申し上げます。また、日智商工会議所としての活動に対するご意見もお聞きしたいと考えておりますので、いつ、どちらでも結構です、お寄せ頂けると幸甚です。

以上